

# 『初級 BIM/CIM 技術者養成講座』

～初めて BIM/CIM に取り組もうとしている方・基本を習得したい方向け～

主催：公益財団法人 日本建設情報技術センター  
協力：大阪大学 大学院工学研究科 環境エネルギー工学専攻 環境設計情報学領域（矢吹研究室）  
一般社団法人 Civil ユーザ会  
事務協力：株式会社 コンピュータシステム研究所 イノベーション事業部

## 開催予定



	1 日目 (9:30 ~ 17:40)	2 日目 (9:00 ~ 17:15)	開催地
開催 1	2024/10/29 (火)	2024/10/30 (水)	福岡市
開催 2	2024/11/12 (火)	2024/11/13 (水)	大阪市
開催 3	2024/11/26 (火)	2024/11/27 (水)	札幌市
開催 4	2025/01/28 (火)	2025/01/29 (水)	東京

## 講師

- 講義：BIM/CIM 入門



大阪大学 大学院工学研究科  
環境エネルギー工学専攻  
環境設計情報学領域  
教授 矢吹 信喜

- 操作実習

AutoCAD、Civil 3D 基本操作、  
道路モデル、統合モデル、点群処理  
構造物モデル、橋梁モデルの作成

## 概要

国土交通省では、2023 年度より全ての詳細設計・  
工事で BIM/CIM 原則適用を開始しております。

本講座は、BIM/CIM 入門の講義と PC/ソフトウェア  
を用いた操作実習を同時に受講出来る為、初めての方や不  
安のある方からも好評をいただいております。

講義を担当する大阪大学の矢吹教授は、当法人の理事で  
あり、国土交通省の BIM/CIM 推進委員会の委員長として、  
日本の BIM/CIM を強力に牽引しております。

皆さまのご参加をお待ちしております。

## 受講料 198,000 円（税込）

＜内訳＞ テキスト代、パソコン/ソフトウェア利用料  
講習代、ソフトウェア操作補助含む

※主催者側の都合で開催を中止した場合以外は、返金致しません。

※振込手数料は振込者にてご負担願います。

## お申し込み方法

- ①【JCITC 養成講座】で検索
- ② QR コードからも  
アクセス可能です



公益財団法人 日本建設情報技術センター  
FAX：03-5366-5132 URL：https://www.jcitc.or.jp


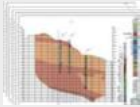



# BIM/CIM って何？

Building / Construction  
Information Modeling, Management




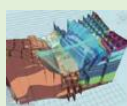
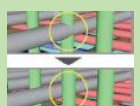

調査・計画・設計段階から BIM/CIM モデル（下図参照）を導入し、その後の施工、維持管理の各段階においても情報を充実させながらこれを活用する事。

## ■ 現状と課題

プロセス		概要		課題
測量		測量機器を設置、撤去しながら測定	2次元の紙図面での作業（打合せ、指示、記録等）	設置・撤去の実施の為重労働
地質調査		過去資料の参照や部分的な掘削により図面化		<ul style="list-style-type: none"> <li>地質調査地点選定に苦慮</li> <li>断面の地質是面作成に手間大</li> </ul>
計画設計		建設場所、構造物の形状を検討		図面のイメージ化や、部材及び材料の数量算出に多くの時間が必要
施工		構造物を建設		<ul style="list-style-type: none"> <li>労働災害の多発</li> <li>施工計画作成に時間や熟練が必要</li> </ul>
維持管理		点検・記録は主に紙への記入		施工時の資料等の散逸により不具合発生時の原因追求が困難化



## ■ 将来の建設生産・管理システム

プロセス		概要		効果
測量		ドローン等により効率化、高密度化の上で3次元で測量	BIM/CIM モデルによる情報共有	短時間で作業終了
地質調査		BIM/CIM モデルによる可視化、新技術導入により、高品質化・効率化		的確に構造物の建設場所を選定
計画設計		BIM/CIM モデルによる可視化と手戻り防止、4D(時間)、5D(コスト)による施工計画作成の効率化。		<ul style="list-style-type: none"> <li>設計ミス及び手戻りの根絶</li> <li>比較、概略検討を多角的に行う事によるコスト、工期面の最適化</li> </ul>
施工		BIM/CIM モデルに基づく施工、デジタルデータ活用による新技術の導入拡大		<ul style="list-style-type: none"> <li>適時的確な設計変更</li> <li>施工性の向上による工期短縮</li> <li>工場現場の安全性向上</li> </ul>
維持管理		ロボットセンサーによる管理状況のデジタルデータ化、3次元点検データによる可視化。		<ul style="list-style-type: none"> <li>的確な維持管理</li> <li>不具合発生時の的確な対応</li> </ul>